

第10回千葉県食品等安全・安心協議会（概要）

I 日 時 平成23年3月4日（金曜日）午後2時から

II 場 所 千葉県教育会館604会議室

III 出席者 文入委員、渡辺委員、石橋委員、薫田委員、岩村委員、杉崎委員、
平山委員、松本委員、羽田委員

IV 議 事

- (1) 平成22年度リスクコミュニケーション実施結果について
- (2) 食品等の安全・安心確保に関する基本方針に係る平成22年度事業・
対策等実施結果（見込み）について
- (3) その他

V 会議要旨

羽田会長あいさつ

千葉大学の羽田でございます。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

千葉県食品等安全・安心協議会では、生産者の立場、流通業者の立場、消費者の立場から関係者が集まり、どのようにすれば食品の安全・安心が保たれるかを議論してまいりました。

本年度は、若い世代を対象としたリスクコミュニケーションを開催したと聞き、楽しみにしてまいりました。若い世代を対象としたリスクコミュニケーションとは、どのようなものなのか。また、どんな反響があったのか、非常に興味深く思っております。

本日の議題は、事務局の説明が主となるかと思えます。

事務局説明に対し、委員の皆様から質問、御意見をいただくこととなります。また、年度末ですので、来年度へのご提案などがありましたらご発言をいただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

【議事】

(1) 平成22年度リスクコミュニケーション実施結果について

事務局から資料に基づき報告

質疑応答

○ 羽田会長

12月21日のリスクコミュニケーションに参加されました、松本委員から感想をお伺いしたいと思います。

○ 松本委員

クイズ形式のリスクコミュニケーションツールを体験しましたが、とても新鮮で、理解しやすかったと思います。クイズの回答後に、解説があったことがより理解を深めたと思います。

また、安全と安心の関係は比例しておらず、安全と安心の位置関係も良くわかりました。

しかし、リスクコミュニケーションの具体的な解説がなかったことが残念でした。

○ 羽田会長

大学生向けリスクコミュニケーションでは、和洋女子大学の1年生と千葉科学大学の2年生を対象として、開催していますが学年により違いはありましたか。

○ 事務局

対象学年の決定については、食品衛生学の授業の一環として実施いたしましたので、和洋女子大学は1年生、千葉科学大学は2年生となりました。また、早い時期にリスクコミュニケーションを体験してもらうことが有効的であると考えております。

○ 羽田会長

小学生向けリスクコミュニケーションの方が、インパクトがあったのではないですか。

○ 事務局

子供達の反応は非常に良かったです。

○ 羽田会長

杉崎委員は、御意見はありますか。

○ 杉崎委員

学生達は、授業の一環であれば真剣に聞いてくれると思います。

また、リスクコミュニケーションを行うのであれば、学年が若い方が良いかと考えます。

- 羽田会長
本年度は、県内2校の大学を対象としてリスクコミュニケーションを開催していますが、今後、開催規模を広げていただきたいと思います。
- 事務局
県としてのプランはありますか。
- 事務局
大学生及び一般消費者向けリスクコミュニケーションに対応できるリスクコミュニケーターが育っておりません。
大学生向けリスクコミュニケーションについては、本年度初めて開催したことから、事務局といたしましては、もう少し深めていきたいと考えております。
また、小学生向けリスクコミュニケーションについては、本年度、県内20校において開催をいたしました。今後、保健所職員などもリスクコミュニケーターの一翼を担っていただきながら、なるべく広げていきたいと考えております。
- 羽田会長
県が一般の方を対象にリスクコミュニケーター講習会を開催し、リスクコミュニケーターを育成すれば裾野も広がるのではないのでしょうか。
- 松本委員
先日、私が所属している団体で、食に関する講座を開催いたしました。講師は、地元保健所の職員の方をお願いしたのですが、リスクコミュニケーションに関するお話はありませんでした。保健所の職員の方でさえ、リスクコミュニケーションについて話題にしていないのが現状です。まずは、職員の方の教育を進めていただくことが必要ではないのでしょうか。
- 羽田会長
ここで、各委員から御意見をいただきたいと思います。
- 薫田委員
現場の問題や解釈の仕方、受け取り方の理解度の度合いなどの問題がありますので、来年度以降も、専門なところでリスクコミュニケーションの開催をした方がより正確に伝わるのではないのでしょうか。

- 石橋委員
12月21日のリスクコミュニケーションに出席し、「食品の安全・安心」の講演などを聞かせていただきました。
我々、農協も消費者と接する機会がありますが、リスクコミュニケーションなどの話し合いを持つことはありません。
食育コーディネーターや野菜ソムリエなどが消費者と接する機会にリスクコミュニケーションを入れたらどうかと感じました。
- 渡辺委員
食品の安全・安心についてですが、輸入食品が増えてきて、不安を感じております。また、学校の評議委員をやっている関係で、学校給食を食べる機会があります。給食の中には、脂肪がたまりやすいものもあるように感じます。学校給食では、もう少し体に良いものを考える必要があるのではないのでしょうか。
- 文入委員
ボランティアを育成し、活用することには賛成ですが、現状では難しいと思います。現在は、行政がリスクコミュニケーションを行っていますが、準備の段階から県民を参加させ、行政と県民などが役割を分担するなど、県民を巻き込んだ形で開催ができれば面白いと思います。
- 羽田会長
禁煙の市民団体などは、独自に出前講座などを開催して市民レベルでいろいろな活動をしています。リスクコミュニケーションについても同様な取り組みができるのかと思います。これは、今後の課題といたします。
- 平山委員
私は、乳業メーカーの団体事務局です。
消費者の意見を聞くことができることから、乳業メーカー従業員の方々にリスクコミュニケーションの参加を呼びかけました。
- 杉崎委員
千葉県栄養士会の会員は2,300名ほどおります。行政、学校、保育園や事業者給食施設などいろいろなところで仕事をしております。千葉県栄養士会では、生涯学習会を開催しておりますので、是非、リスクコミュニケーションを取り入れて若い世代の会員に知ってもらえればと感じました。今後、千葉県栄養士会として取り組んでいきたいと思っております。

- 羽田会長
事務局は、各委員からの御意見を取り入れてリスクコミュニケーションに反映させていただきたと思います。
- 事務局
貴重な御意見ありがとうございました。
本年度は、小学生向けリスクコミュニケーションを20回開催しておりますが、次年度は回数を増やしていきたいと思います。
この機会を利用して、現場の職員もリスクコミュニケーターとなれるような方策を検討していきたいと思います。
また、会長から御意見がありました、ボランティアの活用なども今後の課題として検討してまいりたいと思います。
各委員の御意見を踏まえて、来年も若い世代のリスクコミュニケーションを開催することとして、作業を進めさせていただきたいと思います。
- 羽田会長
食品に関しては、考え方やリスクなどについても年々変わってきます。新しい知識を取り入れられるような機会があればよいと思います。

(2) 食品等の安全・安心確保に関する基本方針に係る平成22年度事業・対策等実施結果（見込み）について

事務局から資料に基づき報告

質疑応答

- 羽田会長
委員の皆様から御意見はありますか。
- 文入委員
監視指導についてですが、事務局から22年度は、73,000件の目標を達成できるとの説明があったが、23年度の目標件数は72,500件と少なくなっている。その理由は何ですか。
- 事務局
飲食店の廃業件数の増減幅が大きいことから、上限目標を決定することが非常に難しく、監視指導目標件数は前年度の件数を目安として設定します。
また、千葉県食品衛生監視指導計画においても、前年度の食中毒の状況などを見ながら計画の策定を行います。

(3) その他

事務局から資料に基づき報告及び実演
質疑応答

- 羽田会長
委員の皆様から御意見はありませんか。
- 松本委員
とても流暢な話し方で、楽しく聞かせてもらいました。
子供達も楽しかったと思います。
実演の中で「みんなの健康が、守られるためには〇〇が大切です。」との設問があります。答えは「安全」ですが、この設問から「安全」を導き出すことは難しいと思います。「安全」を導き出しやすいように設問を変えては如何でしょうか。また、子供達に興味を持たせるために絵を多くすることが必要です。少し絵が少ないように思います。
- 羽田会長
この資料は、どこで作成したのですか。
- 事務局
内閣府の食品安全委員会で作成したものを提供いただきました。
食品安全委員会から内容の変更をしない条件で提供を受けましたので、そのまま使用しております。
- 羽田会長
それはなぜですか。
- 事務局
内容を変更した場合は、食品安全委員会として責任を負えないとのことだと思います。
- 羽田会長
アンケートは実施していますか。
- 事務局
アンケートは実施いたしましたが、みんな同じような回答内容でしたので、アンケートは参考までとさせていただきます。
- 羽田会長
小学生向けリスクコミュニケーションは、改善点もあるとは思いますが、それなりに成果はあったと思います。
事務局は、各委員からの御意見を取り入れてリスクコミュニケーションに反映させていただきたと思います。

○ 事務局

今日の意見を踏まえて、来年度取り組んでいきたいと思ひます。

また、会長からありましたリスクコミュニケーターの仕事については、今後の課題として取り組んでいきたいと思ひます。

貴重な御意見ありがとうございました。

以上